

## 参加高校

青森県立柏木農業高等学校 青森県立尾上総合高等学校 岩手県立遠野緑峰高等学校 岩手県立大槌高等学校  
秋田県立大曲農業高等学校 秋田県立金足農業高等学校 仙台高等専門学校 宮城県志津川高等学校  
山形県立米沢興譲館高等学校 創学館高等学校 福島成蹊高等学校 福島県立平工業高等学校

## 参加12校のSDGs宣言

研修会の後半はワークショップを中心におこなわれました。学校ごとに座っていた高校生がシャッフルされ、あらたなグループのなかでみずからの活動内容をみなさんに披露。さらには、グループ内でSDGsの側面からその活動を評価し、理解を深めながら「高校生SDGs宣言」へとつなげていきます。

### 青森県立柏木農業高等学校 生活科学科

明石 彌久さん(3年生) 野呂 ほのかさん(3年生) 小山 優花さん(3年生)

津軽ダム建設の残土が裸地状態になっており、砂漠のようになっています。また、外来植物ニセアカシアが白神に入り、固有植物がなくなってきました。外来植物の排除や広葉樹を植えて、世界遺産・白神山地を守ります。

SDGs宣言

「私たちが白神山地を守る」



### 青森県立尾上総合高等学校 研究グループ「アースキッズ」

平山 唯晏さん(3年生) 大平 凜さん(3年生) 棟方 楓佳さん(3年生)

生物は一種類だけでは生きていけません。すべての動物や植物たち、虫たちと関わりあって生きています。生物多様性を守るには、私たちのイベントに参加してもらい、まずは家庭の生活レベルから生物多様性を意識してもらおうことが重要と考えています。

SDGs宣言

「子どもたちに生物多様性の大切さを伝えていきたい」



### 岩手県立遠野緑峰高等学校 草花研究班

山蔭 仁哉さん(3年生) 佐々木 未悠さん(3年生) 菊池 優花さん(3年生)

私たちは、捨てられている物をあらたな資源として考えてもらえるように、自分たちの身のまわりから変えていきたい!

SDGs宣言

「すべては必要な物」



### 岩手県立大槌高等学校 インターアクト部、生徒会執行部

佐々木 加奈さん(2年生) 佐々木 慎也さん(2年生) 高清水 あいりさん(3年生)

復興研究会のさまざまな活動をととして大槌の復興・変化を360°の視点で観察、私たちにできることを考え、たずさわっていききたい。

SDGs宣言

「大槌の復興・変化にかかわっていききたい」



### 秋田県立大曲農業高等学校 生物工学部

高橋 佑誠さん(3年生) 鈴木 雅子さん(2年生) 高安 蓮さん(1年生)

・田沢湖の生態系を知るために、流入する沢の微生物調査、現在の田沢湖に生息する生物の食性を調べる。  
・なぜ田沢湖の生物多様性が失われてしまったのかを知る人が少ないため、田沢湖の現状を知ってもらう必要がある。

SDGs宣言

「自分たちの活動を日本国内にとどまらず、世界中の人たちに広める」



### 秋田県立金足農業高等学校 科学部

中川 璃子さん(2年生) 菅原 帆乃香さん(2年生) 田中 友理さん(2年生)

現在の活動では、ハチミツの分析調査を通じてCCD(蜂群崩壊症候群)や地域環境の把握に重点を置いてきました。いままで、ハチミツを残留農薬の基準値を超えない状態で販売していたが、より高い安全性を追求したいと思いました。

SDGs宣言

「ハチミツのより高い安全性の追求」



### 仙台高等専門学校 マテリアル環境工学科

鈴木 翼さん(3年生) 佐藤 徳哉さん(3年生) 狩野 元弥さん(3年生)

1人でさまざまな問題解決に取り組むことは難しい。しかし、たくさんの方が集まれば、いろいろな方向から見ることができ、1人で解決できなかった問題も解決できる。SDGsの17番「パートナーシップ～」の重要性を再確認できました。

SDGs宣言

「社会の基盤である材料分野を担う技術者になることを宣言します」



### 宮城県志津川高等学校 自然科学部

佐藤 利輝さん(3年生) 渡辺 洗人さん(2年生)

今回のワークショップをととして、みなさんがさまざまな活動をしていることを知りました。また、私たちは松原干潟と八幡川でおこなっているフィールドワークの結果を10年後、20年後も比較できるデータとして残していきたい。

SDGs宣言

「松原干潟と八幡川の調査を続けます」



### 山形県立米沢興譲館高等学校 SSクラブ

吉田 海人さん(2年生) 佐藤 空史さん(2年生) 須藤 達也さん(2年生)

今回のワークショップをととして、特定外来生物やそれが環境に及ぼしている影響があまり知られていないことがわかった。地元の自然の豊かさや生態系を守り、知ってもらうためにマップを作り、地域に貢献したい。

SDGs宣言

「特定外来生物のことを広く知ってもらう」



### 創学館高等学校 モノづくり倶楽部

後藤 悠人さん(3年生) 笹原 颯斗さん(3年生) 豊島 大夢さん(3年生)

フィルムケースを再利用してオリジナルのLEDランプを製作し、ゴミの量を減らしたいと考えています。また、廃ペットボトルについてもオリジナルのお神輿を製作して地元イベントで披露、みなさんから喜んでいただいています。

SDGs宣言

「ものづくりの楽しさ」などをテーマに住みやすい街づくりを宣言します



### 福島成蹊高等学校 社会研究部

最上 礼菜さん(1年生) 佐藤 惇さん(1年生) 安彦 美優さん(1年生)

ひと口に「水問題」といってもさまざまな切り口があります。水資源の減少について福島県ができること、水の正しい理解を深めるために発信すべきことを探るなど、一人ひとりがそれぞれの課題解決のために動いていきます。

SDGs宣言

「水問題を解決する方法を模索し、実行します!」



### 福島県立平工業高等学校 生徒会

内山 瑛穂さん(1年生) 内山 瑞葵さん(3年生) 長谷川 凜さん(1年生)

私たちがおこなっている活動のように、視点を変えれば誰かの役に立つ資源がたくさんあります。一人ひとりがリサイクルと地球環境に対する興味・関心をもてば、世界中に笑顔の人が増えるはず!2030年までに世界中の人々が笑顔になれるように活動を活発にしていきたいと思います。

SDGs宣言

「捨てる物を減らしてみんなの笑顔を守ろう~すべては喜んでくれる人たちのために~」

